

民鉄の現実

学校名

奈良市立六条小学校

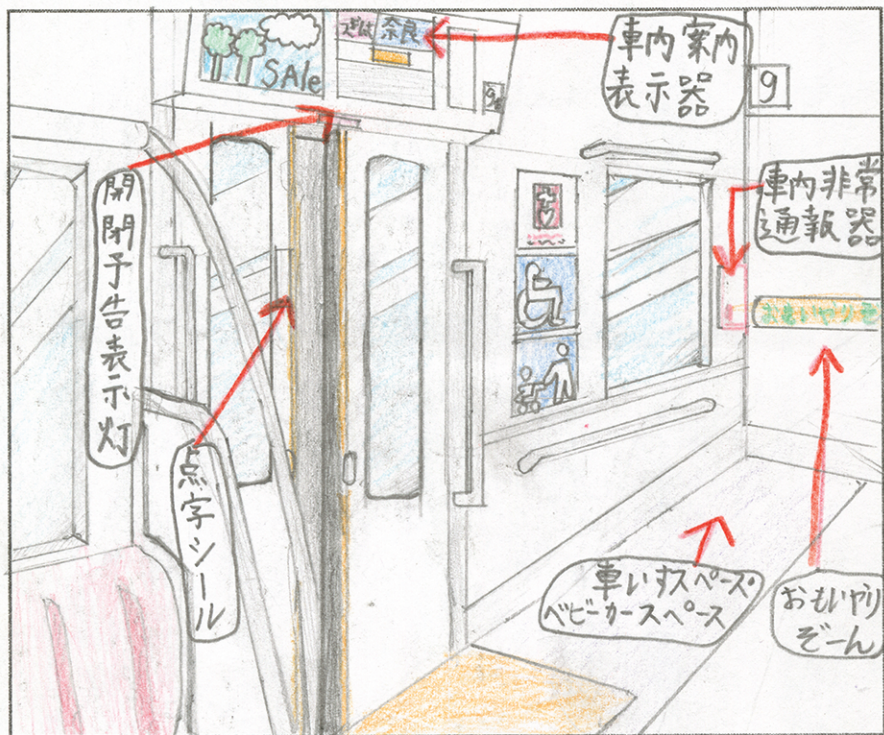
学年

6

年

氏名

原田 幸裕



バリアフリー化の取り組み (矢印で指す物)

鉄道におけるバリアフリーとは

高齢者や障害者が駅や列車を安全かつ快適に利用できるよう、段差の解消や案内設備の充実など様々な対策を行うことです。他にも左の絵にあるようなものが挙げられています。

今、どのくらい実現できているのか？

2021年度末時点で駅の段差解消は93.7%、点字ブロック設置は96.9%に達し、他にもホームドア設置や車両のバリアフリー化も進んでいます。しかし、乗降客数が3000人未満の段差解消の割合は約27%、地方の駅車両のバリアフリー化等の費用負担、バリアフリー化

の重要性に対する理解不足等が課題です。

感想

では感想

技術革新や意識改革によって、より一層のバリアフリー化が進むことが期待されていますが、このような課題をどう解決するのか、これからどうなるのか、電車に乗るのが楽しみです。